

沖縄和僑会を設立

県内経営者ら 海外事業で交流

海外でのビジネスに関心のある県内の経営者や社会人同士の交流を深め、県内企業の海外展開への意識を高めようと二十日、県内の経済人有志が交流組織「沖縄和僑会」を設立する。海外で活躍する日本人を講師に招いた講演会やセミナーを二、三カ月一度の頻度で開催し、海外ビジネスへの知識を深める。

二十日には会設立を記念し、香港貿易発展局日本首席代表の古田茂美氏を講師

に招き講演会を開く。

沖縄和僑会は、香港や中国本土を拠点に世界で活躍する日本人経営者同士の交流拠点として二〇〇四年に香港で誕生した「和僑会」が基盤。世界中で活躍する中国人「華僑」にならない、日本人同士のネットワークを構築しビジネスに生かそうという狙いだ。香港で設立以来、シンガポール、上海、モンゴル、国内では東京、関西など各地に会が発足している。総会員数は約二千人。

沖縄和僑会は、国内六番目の組織として設立した。沖縄ビューマンキャピタル社長の金城和光氏とインテックス沖縄社長の栗田智明氏、海邦総研取締役経営企画部長の伊波貢氏が発起人となり、十一人の会員でスタートする。

発起人の一人の金城氏は「沖縄の人は今まで東京ばかり見てきたが、東京よりも香港の方が世界とつながっている。沖縄和僑会を香港、世界とつながる拠点にしたい」と述べた。

沖縄和僑会は現在会員を募集している。詳細は同会ホームページ <http://www.wakyo.com/>